



## 「新たなるスタート」 ～ 激動の時代の会運営 ～

茨城県行政書士会

会長 古川 正美

観測史上最速の梅雨明けにより、早くも夏本番を迎える季節となりました。急激な気温の上昇に体が慣れるまで数日から2週間程度の期間が必要とされる（暑熱順化）そうですが、その暑熱順化に対応できず体調不良を訴える人が続出していると言われています。そんな中、去る5月31日に令和4年度定時総会を開催し、提出議案がすべて可決承認され、名実共に令和4年度の事業がスタートいたしました。総会には初めて大井川和彦茨城県知事を来賓としてお迎えし、ご祝辞を賜りまして誠に有り難うございました。令和4年度はコロナ禍により失われた2年間を取り戻すべく、積極的な事業展開をしていきたいと思っておりますが、オミクロン株の変異株であるBA-5が勢いを増し、すでに第7波が到来していると言われていた状況においては、これまで同様の慎重な会運営をせざるを得ないと思われま

す。6月とは思えない異常な猛暑に見舞われた参議院議員通常選挙の期間中、投票日の2日前に安倍晋三元首相が選挙応援の最中に凶弾に倒れ、尊い命が失われました。このニュースを耳にした国民の多くがこの日本でこのような銃撃事件が起こるとは想像だに出来なかったと思いますし、さらに今後もこのような事件が身近な場所で起こるのではないかと不安な感情を持つ人もおられましょ

う。この事件を受けた世論調査では暴力によって日本の民主主義が脅かされる不安がある人は73%に達したという結果が出ており、多くの日本人がこれまで経験したことのない不安感を覚えているということだと思

います。当然ながら我々はテロや暴力に屈することなく、毅然とした態度をもってこれまで同様の平和な社会生活を送ることが求められますが、そのためには社会の様々な不安定要素（コロナ、国際

紛争、テロ等）としっかり向き合い、我々日本人の英知を結集して一つずつ解決策を見出していくことが重要なことではないでしょうか。

2月にはロシアによるウクライナ侵攻が突然実行され、それによって日本社会も大きな影響を受けており、特に食糧やエネルギーに関しては世界を巻き込んだ大問題になっております。紛争は7月になっても収束する見込みはなく、多くのウクライナ国民が避難民として海外に脱出していますが、日本でも積極的に避難民を受け入れる態勢を整え、実際に受け入れている自治体も増えてきており、行政書士会としても受け入れに関する相談窓口を設置するなど、支援体制をいち早く整備いたしました。今後は国際情勢の動向を注視しつつ、積極的にウクライナ避難民支援に取り組んでいきたいと思

います。この2年間の間に現代は激動の時代又は混沌の時代と言われてはいますが、このような時代にこそしっかりと将来を見据えた会運営が求められるのではないかと考えられます。そのためには会員の皆様のご意見をしっかりと受け止め、的確な判断のもと迅速な事業展開を心掛けていきたいと思

います。暑さも峠を過ぎればコスモスの咲く季節がやってまいります。コスモスは我々行政書士の徽章のモチーフになっている花ですが、花こ

とばが「秩序と調和」だそうです。1人1人の行政書士が「秩序」を重んじ、常に「調和」を意識して行動することによって文字どおり国民と行政との絆としての役割が果たされるものと考えております

最後になりますが、暑さ厳しき折、皆様におかれましては呉々もご自愛の上、より一層のご活躍をお祈りいたします。